

⚠️ 特定外来生物・害獣の

アライグマ・ハクビシン

でお困りの方はご連絡ください



アライグマ



ハクビシン

狛江市では、特定外来生物に指定されているアライグマと、有害鳥獣として疎まれているハクビシンの目撃情報や相談件数が増加しています。

特定外来生物とは、もともと日本にいなかった生物（外国から持ち込まれたり、やってきた生きもの）のうち、特に私たちの生活や生態系などに被害を及ぼすもの、または及ぼす恐れのあるものについて、国が規制すべき生物として指定した動植物のことです。

野生化したアライグマやハクビシンは、民家や社寺の天井裏などに住みつき、ごみを荒らしたり、糞尿被害を与えるなど私たちの生活に好ましくない影響をもたらす場合があります。

アライグマ・ハクビシンの生態と特徴

アライグマ

中型犬くらいの大きさ
頭から尾の先まで70~90cm

耳はとがって、
白いふちどり

尾に5~7本の
しま

目のまわりに
黒いマスク模様
眉間に黒いすじ

前足・後足とも
5本指

ヒゲは白い



夜行性で一般的に川や池などの水辺を好みます。雑食性なので生ごみやペットのエサ、魚、カエルなどの水中生物やトカゲ、ネズミ、バッタ等の陸上生物、スイカや柿などの果実や種子など何でも食べます。見分けるポイントは尻尾のしま模様です。気性が荒く、凶暴なところがあるので、見つけても触ったり近づいたりしないように注意してください。

ハクビシン

スリムな体型
頭から尾の先まで90~110cm

顔の真中に
白いすじ

足が短い

前足・後足とも5本指

尾が長い



ハクビシンは平安時代に輸入され、日本に定着した外来動物といわれています。本来の生息地は東南アジアや台湾などで、寒さに弱く、民家や社寺の縁の下や天井裏に棲みつくことがあります。

雑食性で、スイカやトウモロコシなどを好み農作物が被害にあいます。見分けるポイントは、額から鼻先にかけて白い筋があります。また、足が短く尻尾が長いことから、スリムな体型をしています。木登りが得意で、電線の上を歩いているのを見かけることもあります。

❗ 防除対策 — 被害にあわないために —

直径8cm角（原寸大）

縁の下や通風口など家屋の隙間をふさぐ

家屋への進入を防ぐために、縁の下や通風口、屋根と壁の間などの隙間をふさぐことが有効です。アライグマなら10cm、ハクビシンなら右の絵のように、8cm角の隙間であれば、どこでも侵入します。



ボクなら、こんな小さな穴や隙間はすぐに通り抜けちゃうよ！
家屋の隙間はふさいでね！



生ごみや敷地内の果実などエサになるものを放置しない

雑食性なので、昆虫、ネズミや鳥のヒナなどの小動物、スイカやトウモロコシ、柿やミカンなどの果実や種子など何でも食べます。生ごみやペットフードの残りを戸外に放置しないようにしましょう。また敷地内に実った果実や野菜などは取り残さないよう注意しましょう。

何でも
食べるよ



昆虫



生ごみ

果実や
野菜



小動物

捕獲用箱わなの貸出しを行っています

市ではアライグマ・ハクビシンによる被害でお困りの方に箱わなの貸し出しを行っています。

【捕獲対象】

アライグマ・ハクビシンのみ

【利用期間】

原則3週間

【設置場所】

設置希望者の所有又は管理している敷地内

【貸出条件】

- ・ 設置場所が屋外の平地であること
- ・ 毎日箱わなの見回りができること
- ・ 箱わなのエサ（フルーツ等）の費用負担ができること
- ・ 箱わなのエサの取り替えが行えること



詳細はHPからも
ご覧いただけます。



▼市HPは
こちらから



相談・
お問い合わせ

狛江市環境政策課水と緑の係

03-3430-1111（内線2561・2562）